

令和8年度 第1回麒麟のまち創生戦略会議 議事概要

日時：令和8年5月8日（金）午後3時30分～4時30分

場所：鳥取市役所本庁舎 7階 全員協議会室（鳥取市）

出席者：鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、香美町長、新温泉町長

1 開 会 鳥取市長あいさつ

2 議 題

(1) (一社) 麒麟のまち観光局の取組状況について・・・・・・・・・・ **資料1**
(質疑・意見等なし)

(2) 日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況について・・・・・・・・・・ **資料2**

《若桜町長》

東部町長会で北海道の利尻へ視察に行った。そこでは、鳥取からニシン漁などで移住された方が麒麟獅子舞の伝統をずっと守っておられ、奉納される神社にも行った。そこで、海が見える場所で獅子舞を奉納されたり、獅子舞のポスターが境内に貼ってあったりとか、非常につながりがあるなというふうに改めて思った。この利尻富士町の副町長さんが賀露にルーツのある、島谷（しまや）さんという方。何代か前、曾祖父くらいには賀露に住んでいたようで、北海道に移ってから「しまたに」から「しまや」にされたとういう、賀露にゆかりのある方である。その他にも、何人かそういう方がいらっしやったようだ。麒麟獅子舞のつながりということで、ご紹介させていただいた。

《事務局》

利尻島のお話をいただきました。本市の秋里麒麟獅子舞保存会さんにつながりを持っていらっしやいまして、定期的に行き来をされていると伺っております。こちらも、今後、いろいろ取組ができたらと考えているところです。情報をありがとうございます。

《鳥取市長》

島谷さんというのは以前からありまして、能登の方にも親戚があつたりしますが、多分ニシン漁などで行かれて、そのようなつながりがあったかと思えます。

先ほどありましたように、秋里の皆様と以前から交流をしておられ、こちらにもお越しいただくなど、そういうつながりがありますので、これからも大切にしていきたいなと思っております。

(3) 令和8年度地域未来交付金(地域未来推進型)金事業について・・・資料3
(質疑・意見等なし)

(4) 若者定住促進事業(麒麟のまち婚活サポートセンター運営事業)について資料4
《新温泉町長》

最大の課題である人口減少。本町での婚姻数は、昨年度13組、離婚が7組あった。町民課に確認したところ、離婚は50歳前後の方が多く、婚姻は20～30歳代の方が多い。

この4月に、神戸の方から新温泉町へ新しい職員が来られた。女性の方であるが、その方が言うには、今の婚活はSNSであるとのこと。友達の2人のうち1人は、SNSで結婚しているということを書いていた。そういう時代であるとのこと、びっくりしているところである。そういうことから、SNSでもっとPRした方が、結婚の可能性が高いと思う。

《事務局》

SNSなど若い方の志向にそったアプローチは、ご意見をいただいたとおり大変重要であると考えております。先ほどの説明で、「オミカレ」という名前が出てきましたが、こちらが、SNSを活用したマッチングと申しますかそのような民間の事業者でございます。このようなどころとも連携して、若い人向けに合った婚活事業を進めてまいりたいと思いません。

3 その他

《八頭町長》

婚活事業の圏域のイベント会員登録者数が1709人とあるが、これは男女合わせた数か。

《事務局》

男女合わせた数となっております。

《八頭町長》

内訳はどのようになっているか。

《事務局》

1709人の内訳でございますが、男性が1018人、女性が691人でございます。

《八頭町長》

カップル解消者にヒアリングと書いてあるが、どなたがされるのか。また、フォローアップと書いてあるが、具体的にどういうことをしているのか。

《事務局》

まず、カップル解消者に対するヒアリングでございますが、婚活のコーディネーターという女性の専任スタッフを置いておまして、その方がソフトな感じで聞き取りをさせていただくというところです。

フォローアップでございますが、現場のスタッフと話をする中でも、やはり最初が肝心で

あるということから、イベントでカップルになった直後に、集中してフォローをするようにしております。なるべく次に会う約束をしていただくとか、会話の話題の提供やこういったところに行ってはどうか、といったようなきめ細かなフォローをそのコーディネーターがさせていただくようにしているところです。

《若桜町長》

若桜町の場合は会員数が13人で変わっておらず、結構少ない。年齢要件で20歳以上ということで多分上限はないと思うのだが、若桜町の場合、40、50、60歳代の独身の方が多い。例えば、こういうイベントに登録しても、何かちょっと出づらいなということがあると思う。ただ、やはり、婚活のニーズ自体はあって、そういう高い年齢層向けにも、何かそういうカップリングができるようなことを今後考えていただけたら、もっと会員数が伸びるのではないかなとか思う。

それから、カリスマアドバイザーの荒木さんが関わられたイベントは、50%近い成功率で、どのイベントに出られるかということが、もし事前にわかれば、そこを狙っていくというようなこともあるのかなとか思ったりするので、情報としていただけたらと思う。

《事務局》

年齢の高い方、中くらいの方、若い方、いろいろあると思いますので、年齢区分ごとのイベントというのも少しさせていただいているところです。また運営の工夫で、そこも充実させていきたいと思います。

それから、荒木さんに来ていただくイベントは、なるべくたくさんカップルになっていただきたいと思いますので、荒木さんが来られることがわかるような宣伝をさせていただきたいと思います。

《香美町長》

この御周印帳というのは、とてもよい取り組みである。私は、観光客向けよりも、地域間の住民の交流＝地域間交流として、とても良いことだと思う。デザインも良い。

ただ、押印場所が道の駅などはわかるのだが、観光協会の事務所とか、観光案内所というのではなく、その地域の一番重要な見どころあたりにされたらいいのではないかなと思う。観光協会の事務所に行くというのではなく、その地域の目立つ観光地の重要拠点において、押印ができる仕組みができればいいのではないかなと思った。

婚活事業の関係について、ずっと以前だが、婚活イベントのテレビ番組があった。2時間番組くらいで、半年に1回程度。その番組に、兵庫県の自治体の何か所かが取り組んだ事例を少し聞かせていただき、結構なインパクトがあるということだった。兵庫県で言うと、淡路島の離島の沼島や多可町などが番組を誘致したのをテレビで見たことがある。そのような取組を、例えば、麒麟のまち圏域で、先ほどの事業のひとつとして、テレビ番組の誘致を考えていただくとか。今は、番組がなくなったかも知れないが。

当時、多可町の町村会の会長をされていた戸田町長が説明してくださったのだが、神戸までは自分で来てもらい、神戸から会場になる受け入れ地域までの交通から宿泊から全部費用を持たしていただくのと、番組に300万か400万ぐらいの負担金が必要であったとのこと。今であればもっと必要となるかと思う。圏域として取り組んでいるというのもインパクトがあるのではと思った。

《事務局》

御周印の取り組みのことですが、今、それぞれの市町の押印場所につきましては、それぞれの市町で一番最適かなというところを決めて、始めさせていただいておりますが、例えば、なかなか売れ行きや来訪者が少ないということであれば、場所をそれぞれの市町で変更しても構いません。また、この地域印は、現在それぞれの市町に一つずつですが、それを増やすということも可能なようですので、今後、そういったこともまた考えていきたいと思っております。

押印場所につきましては、お金をいただいて押印をするという方法ですので、そういった取り扱いができる場所に設置する必要があるとございます。御周印帳については、観光客だけではなく、圏域内へもこのような取り組みを始めたというPRはさせていただいておりますので、例えば、自治会の旅行で必ず使っていただくなど、PRをして活用していただくというようなことも考えてみてほしいかなと思っています。

《事務局》

おっしゃられた番組は、おそらく「沼島の春」ではないかと思えます。このような情報提供もいただきましたので、そういう全国ネットのメディアを活用したような取り組みについてもいろいろ研究して、効果が上がるようにやってみたいと思えます。

《八頭町長》

観光局で常務をお願いするという方だが、どのような方か。また、どのようなことを担当される予定か。

《事務局》

現在、麒麟のまち観光局の中で、田村という専務がおりますが、この度お願いする方は、常勤の常務取締役というような位置づけを予定しているということでお聞きしております。

関わる業務の領域の話をする前に、この方の経歴について少しお話しします。元々は全日空運輸株式会社での職務経験を持っておられた方で、会社を辞められた後に、個人で会社を立ち上げられました。現在、株式会社フォルシアという、主に旅行会社などを中心に旅行の予約といったようなシステムを構築し、予約から販売というようなサイトを立ち上げられた方でございます。

この方が基本的には今の会社を辞められて、手続きを経て6月から配置についていただくということで、先ほどの資料の体制表にもありますとおり、システム構築に長けた方ということでございますので、観光のDX、それから、ホームページマーケティングといったよ

うなシステム系の分野を、主には担っていただくというふうに聞いているところです。

《八頭町長》

何才くらいの方か。

《事務局》

61、62才くらいの年代であるとお聞きしております。

4 閉会

八頭町長ご挨拶